

美術放談

令和7年度
美術講座

美術分野の学芸員が毎回テーマに沿って美術について思いつくままにお話ししている美術掛け合い漫談「美術放談」。次第にファン(?)になってくださる方も増えてきました。五年目となる令和七年度は左記のラインナップでお送りします。美術の楽しさ、ご一緒ください。

◆ 於 福島県立博物館講堂 定員二〇〇名(先着順) 申込不要 参加費無料

◆ 講師 小林めぐみ、塚本麻衣子、原恵理子(当館学芸員)、川延安直(当館専門員)

【お問合せ】 福島県立博物館 電話 〇二四二(二八)六〇〇〇

◆五月十七日(土)◆ 十三時三十分～十五時

第一回 幸せになるために

幸せは千差万別。あなたの幸せはなんでしょうか。さまざまな美術に込められた幸せへの願いを読み解きます。

◆七月十二日(土)◆ 十三時三十分～十五時

第二回 わたしの可愛いひと

目の中に入れても痛くない孫。家族のような動物たち。愛情を注ぐ対象の姿を残そうと作られた美術作品があります。また愛でるべき愛らしい美術も。あなたの可愛いひとは?

◆八月十六日(土)◆ 十三時三十分～十五時

第三回 戦争と美術

美術は、その作品が生まれた時代背景を背負うことがあります。近代以降続いてしまつたいくつかの戦争。幕末、明治、大正、昭和の美術から戦争との関わりを紐解きます。

◆十月十三日(月祝)◆ 十三時三十分～十五時

第四回 親子代々

親から子へと守り伝えられるものは様々あります。語り継がれる教え、先祖代々の家宝。親子代々大切に守り伝えた美術を通してその意味を探ります。

◆十二月十三日(土)◆ 十三時三十分～十五時

第五回 会津らしさとは

会津らしさとはなんでしょうか。会津の作家、会津ゆかりの作家たちの作品から「会津らしさ」を考えます。

◆二月十四日(土)◆ 十三時三十分～十五時

第六回 掌の美

手のひらの上で大事に眺めたい掌の美。古くから日本では掌中の美も大切にしてきました。日本美術ならではの精緻な技術や表現をご紹介します。